

県立加茂病院附属看護専門学校卒業式  
(3月6日)

主な内容

- 小池市長市政報告  
平成14年度施政方針について……………②⑬
- 美川憲一コンサートチケット発売中……⑬
- 後須田、若宮住宅団地分譲中……………⑭
- 加茂市教育委員会表彰式……………⑮
- 歯の健康「埋伏歯とは？」……………⑯
- 加茂の風土記「星野貞菴の碑」……………⑳

# 市政報告

加茂市長 小池 清彦

## 洋々たる未来が開けている予算 平成十四年度の施政方針について

三月五日、市議会で御説明いたしました施政方針の全文を御報告申し上げます。

現在、市議会において、御審議いただいている平成十四年度の予算案の重要事項は、この施政方針で御説明してございますが、詳しい内容につきましては、別冊の「平成十四年度当初予算(案)概要」をご覧くださいと思います。

## 平成十四年度の施政方針(全文)

平成十四年度の施政方針について、御説明申し上げます。

## (これまでの回顧)

平成七年五月、「加茂市に大きな夢と新しい風を」、「民主的市政と福祉と繁栄を」の願いを込めて、十二

お気軽においでください  
市民と市長の「よもやま話」の日

四月三日(水) 午後一時三十分から行います

十八日(木) 時間等については御相談ください

【受付・問い合わせ】 市役所3階総務課広報広聴係

(☎52-0080 内線323)

までお願いします

項目の公約を掲げて市長に就任させていただきました以来七年間が過ぎました。

平成十一年、市民の皆様の御信任をいただき、二期目の市長に就任させていただきました。心から感謝いたしております。あらためまして、至らぬ身ではございますが、何卒よろしく御指導、御鞭撻くださいますよう、お願い申し上げます。この間、市民の皆様方の温かい御指導と御支援の下、市議会議員の皆様方の力強い御指導と御支援を賜りながら相共に手を携えて、市政を推進してまいりました。ここに、あらためまして市民の皆様方お一人おひとりと市議会議員の皆様方お一人おひとりに対しまして、厚い感謝の思いを込めて、心から御礼を申し上げます。また、市職員各位の御協力と御尽力に対しましても、心から感謝の意を表するものであります。

今日までの七年間、私は、ひたすら市民の皆様方お一人おひとりのおっしゃることをよくお聞きして、その御指導に従い、市民の皆様方お一人おひとりを大切

養病床がオープンいたしました。

### （平成十四年度の市政推進の基本）

来るべき平成十四年度は、いよいよ温泉施設を完成し、市民中心の真の民主的市政をさらに推進し、これまでに到達した市政の高い水準をさらに高め、充実させてまいりたいと存じます。

原則として、毎週水曜日の午後開いております「市民と市長のよもやま話の日」には、本年一月末までに延べ五百九十五組、延べ千二百八十三人の方々がおいでになり、本当に感謝いたしております。本年度も市民の皆様方のお越しを心からお待ち申し上げます。

また、地元選出の衆参両院議員、県議会議員並びに市議会議員の皆様方の御支援も仰ぎながら、国・県と太いパイプを結んで、多くの重要政策を実現してまいりたいと存じます。

平成七年十二月、加茂市は「非核平和都市」を宣言いたしました。今年度も、日本国憲法の平和主義の旗を高く掲げて前進いたしたいと思っております。

### （平成十四年度予算の総額）

さて、平成十四年度当初の一般会計予算総額は、百四十四億三百万円で、対前年三・五％の減額でございます（十三年度は、百四十九億二千五百万円）。また、一般会計と各特別会計の予算額を単純に合計した額は、二百四十五億四千六百三十万円で、対前年三・六％の

にし、最高にお幸せにすることを根本として、市政を推進してまいりました。私がこれまでに推進させていただきました市政は、ほとんどすべて市民の皆様方からいただいたアイデアに基づくものでございます。市民の皆様方からいただきましたアイデアは、いずれも現実の生活の中から生まれた、この上なくすばらしいものであり、民主主義の偉大さに感動する日々でございました。こうしたお陰により、加茂市は日本のトップクラスの福祉のまちとなり、日本で最も商工業と農業が守られているまちとなり、日本で最も自然環境が保護されているまちとなりました。待望の加茂信濃川大橋も、一昨年度ついに橋梁の建設が始まり橋脚一基は完成し、更に二基の予算が認められております。温水プールもオープンし、すぐれたコーチをお招きしてスイミングスクールも開催されております。冬鳥越スキー場も加茂市営となり、日の出荘ロッジ・ウェーデルンやＴバーリフトも完成し、芝生や遊歩道も整備され、冬鳥越スキーガーデンとして一年中お楽しみいただける洋式庭園となりました。新潟県最古の電車モハ一の復元も、間もなく完了いたします。温泉も湧出し、現在建物を建設しております。今年の秋の完成をめざしております。市民の皆様のお力により、市議会の皆様とがっちりと手を携えて、加茂病院も守り抜くことができました。百七十床の病床は、全く減らされることがなく、平山知事さんの御英断により、かえって十床増えて、百五十床の一般病床に加えて三十床の療

減額でございます（十三年度は、二百五十四億六千万円）。

## （予算の基本的編成方針）

平成十四年度当初予算の基本的な編成方針は、次のとおりであります。

- 1 昨年度建設に着手した温泉施設は、今年の紅葉のころに完成する。
- 2 平成十二年度に橋梁の建設に着手した（仮称）加茂信濃川大橋の建設を最大限に進める。（十三年度末までに橋脚三本の予算がつき、うち一本が完成した。）
- 3 冬鳥越スキーガーデンの整備をさらに進め、県内最古の電車（モハー）を完全に復元し、駐車場を整備するとともに、国の金を使って、日本一の全面花時計（直径二十メートル）とバラ園を作る。
- 4 温水プールの優れたコーチによる、スイミングスクールをさらに発展させる。
- 5 ㈱新潟鐵工所加茂工場を無傷で存続させ、㈱丸五技研を極力無傷で存続させるため全力を尽くす。また、下請・孫請企業をマン・ツー・マンで守り抜く。
- 6 日本一のIT（情報技術）のまちをめざす。
- 7 日本一の健康のまちをめざす。
- 8 国道四〇三号線バイパスの建設を着実に進める。
- 9 無担保・無保証人・上限二百万円の中小企業小口

融資制度を堅持するとともに、上限一千万円の第二次中小企業経営安定資金融資（金利一・八％、期間七年（二年据置））を実施する。

- 10 日本一の福祉のまちを堅持し、さらに充実させる。
- 11 在宅介護料・看護料無料を堅持する。
- 12 施設介護待機者ゼロを堅持するとともに、できるだけ早く第三平成園の建設をめざす。
- 13 乳幼児及び妊産婦の医療費原則無料を堅持する。
- 14 女性が安心して子どもを生み育てることができるよう加茂市をつくるため、さらに前進する。
- 15 療養型病床群を活用しつつ、加茂病院の救急医療能力の向上を図る。
- 16 好評の五つのコミュニティセンターとかも川荘、ゆきつばき荘を快適に運営する。
- 17 新設の須田中央公園内の「憩いと遊びの広場」にも「子育て支援センター」を開設し、既設の「乳幼児あそびの広場」とともに快適に運営する。
- 18 知的障害者援護施設の構想について検討する。
- 19 私立保育園をしっかりと支援する。
- 20 児童館をしっかりと運営する。
- 21 チャイルドシート購入費二割補助を継続する。
- 22 天神林・川西・山島・加茂新田への市民バスの運行、七谷・村松方面および須田方面での民営バスの運行の支援に万全を期す。
- 23 公立保育園にも、園児バスを導入する。ただし、私立保育園と幼稚園を圧迫しないよう配慮する。

- 24 六十五歳以上の方々の無料インフルエンザ予防接種を継続する。
- 25 小中学校の教育をさらに充実する。技術面の教育とともに「心の教育」を重視する。
- 26 時代の最先端を行く学校インターネットのシステムの活用を進め、さらなる充実を図る。
- 27 小中学校の給食のお米をすべて加茂産のコシヒカリとする制度を継続する。
- 28 スクールバスの運行に万全を期する。障害のあるお子様のためのスクールバスの運行にも万全を期する。
- 29 加茂西小学校の建替は、平成十五年度に三本目のボーリング調査を行う。
- 30 育成会、スポーツ少年団をしっかりと支援する。
- 31 ボーイスカウトおよびガールスカウトを支援する。
- 32 文化および体育の充実を期する。
- 33 「加茂川ブルース」(美川憲一)、「加茂川慕情」(真咲よう子)のレコードの全国版をめざす。
- 34 新たな加茂市史の編さん作業をしっかりと進める。
- 35 図書館をすべての日曜日に開館する。
- 36 労働界と定期協議を行いながら、全力をあげて支援する。
- 37 消防の充実に努め、消防団員の皆様を高く処遇する。
- 38 二台の高規格救急車を有効に運行する。
- 39 小京都加茂市の自然の行き過ぎた破壊を防止する。
- 40 大改修したごみ焼却炉とごみ処理最終処分場をしっかり運営するとともに、ごみ問題には常に的確に対応する。
- 41 鱒田沢の不燃物処理場を整備する。
- 42 加茂川の中に生えている木を切る。
- 43 山にはびこってきた竹を除去する。
- 44 若宮公園を整備する。
- 45 下条川ダムの入漁料無料を継続し、加茂市の放流量二トンを維持し、日本有数のヘラブナ釣りの名所として大切ににする。
- 46 加茂川漁協に対する支援に力を入れつつ、加茂川での鮎や鮭等特定の魚以外の入漁料を無料とし、子どもたちのサシ網漁も多くの場所で行える態勢を維持する。
- 47 小京都加茂市全体を憩いの場として整備する。
- 48 「小京都加茂のハイキングコース」を編さんしつつ、コースを整備する。
- 49 温泉整備にあわせて、粟ヶ岳登山を支援する。
- 50 芝野区、横江区の住居表示を行う(十月をめどとする)。
- 51 市民農園の開設について検討する。
- 52 加茂市のパソコン化・インターネット化を推進する。
- 53 無料のパソコン講習を継続する。
- 54 商工業を懸命に支援して、その繁栄を図る。
- 55 木工業界をはじめ各業界を強力に支援する。

56 五番町が開始となる商店街近代化事業を強力に推進しつつ、商店街を守り抜く。可能性のある全域を特別用途地区等に指定して、五百平方メートル以上の店舗の出店を禁止する措置をとる。

57 マイホーム支援資金の金利一・八％を維持する。

また、加茂市に本店を有する建築業者に発注した場合の金利は、一・四％とする。(いずれも固定金利)

58 「桐の苗を植えて育てる運動」をさらに推進する。

59 三割を超える減反で未曾有の苦難の中にある加茂市農業を守るため、引き続き農機具購入費補助等の施策を推進する。補助率は、平成十三年度と同様とする。即ち、二〇％とするが、全く減反しなかった方は一五％とし、減反した率に応じて補助率を決めるものとする。

60 大谷のほ場整備を終了する。下条のほ場整備を推進する。高柳のほ場整備の準備を進める。

61 須田の広域農道を延長するよう力を尽くす。

62 林道今滝冬鳥越線の整備に全力を尽くし、その他の林道の整備も着実に推進する。

63 廣圓寺裏の危険箇所の大規模改修工事を引き続き推進する。

64 大谷の県道出戸村松線の拡幅整備を引き続き推進する。

65 天神林上条線(若宮町・長福寺間)の建設を引き続き推進する。

66 八幡駒岡線をさらに上(かみ)へ向かって延長す

るとともに、下(しも)へ向かって同線につながる舞台八幡線の皆川までの延長工事を進める(昨年度開通した)。また、両線の周辺の環境を整備する。

67 黒水土倉線の急坂の改良工事を推進する。

68 南銀座通りを拡幅して、広い根古屋中央線を建設する工事を進める。

69 下条地域内の県道天神林上条線は、拡幅できるところを拡幅する。

70 興国鋼線索跡地横の道路を拡幅する。

71 下条陣ヶ峰線、稲荷面横線の整備を進める。

72 大正川のJ R線下拡幅工事を推進する。これにより上流の家屋の浸水の危険は解消する。

73 下水道は、今年度も財政が許す最大規模で推進する。これまでの毎年十六億円の事業規模は、十一億円とせざるをえない。(加茂市の建設業へ発注する分は、十三億円が十億円となる。)

74 今年度に、猿毛・元狭口・芦ノ出・小貫・加茂新田・川西・山島・天神林・下興野・長福寺・希望ヶ丘・須田の一部にまで、下水道の認可区域を広げる。

75 今年度に下水道が下条川を渡る。

76 水道料金は、五％弱(四・五％程度)値上げせざるをえないが、県下二十市中最低の水道料金を堅持する。

77 上記のほか、市民の皆様方の御要望をすべて実現することを目標として、各般にわたり、積極的に施策を進める。

78 国・県の資金を大量に導入して、豊かな市政を推進する。

79 今年度は、市職員が大勢（十三人）退職するため、昨年度より一億七千万円多くのお金が必要となる厳しい年であるにもかかわらず、市政の高い水準を下げることなく充実した予算案を編成することができた。貯金は、一億五千万円増えて、十三年度末には、十八億五千万円となる。平成十五年度から十八年度までは、比較的楽な年であるので、加茂市の予算はさらに充実し、貯金はさらに着実に増えていくものと思われる。

80 温泉の次は、第三平成園をめざす。

以上でございます。

### （小泉総理の政策では国が減じる。 百八十度の政策転換を望む）

さて、不幸にして、現在の日本は、亡国の危機に直面しております。これは、天災ではなく、人災であります。小泉総理の政策は、完全に間違っておられます。

小泉総理の基本哲学である「創造的破壊」は、二百年前の初期資本主義時代のアダム・スミスの経済理論と同様のものであり、自由放任（レッセ・フェール）、弱肉強食、弱者切り捨ての理論であって、企業をバタバタ倒産させ、失業を増大させ、最後に大恐慌を招く

ものであります。

不景気のときに超緊縮財政政策をとることは、経済学の法則に完全に反するものであり、かつて世界大恐慌を招いたアメリカのフーバー大統領と同様の破滅の政策であります。

小泉総理の「不良債権処理」と「銀行の引き締め」は、不景気のときにやってはならない政策です。

小泉総理の地方財政政策は、「均衡ある地方の発展」を基本哲学とするすばらしい日本の地方財政制度を破壊して、東京を中心とする太平洋ベルト地帯の富みたる地域を優先し、地方を完全に切り捨て衰退させるものであります。

このままでは、日本は減じます。今ここで政策を百八十度転換しなければ、日本は二等国、三等国に堕ち、再び立ち上がれなくなります。

ここで、六百六十六兆円の財政赤字に目を奪われてはなりません。いざとなれば日銀引き受けの国債発行も辞せずとの断固たる決意をもって、即ち六百六十六兆円の財政赤字は日銀に肩代わりさせて、実質的にこれを踏み倒して消滅させることも辞せずとの強い決意をもって、超大型拡大財政政策をとり、地方を大切に

する地方財政政策をとって、景気を一気に回復すべきであります。

日銀引き受けの国債発行をやっても、日銀は通貨発行権を持っておりますから問題ありません。デフレスパイラルの時にインフレにはなりません。

(市町村合併は、民主主義を破壊し、地方を破壊し、国を滅ぼす。

合併により加茂市は壊滅する。

合併は、ごく一部の地域の悪性の熱病)

次に加茂市の周辺で最近議論されるようになってきたのが、市町村合併問題であります。

市町村合併などは、ちょっと冷静に考えてみれば通常およそ馬鹿げた話であり、全国的に見れば、こんな悪性の熱病に患っているのは、ごく一部の地域なのですが、そのごく一部の地域の中に新潟県が入っていることは、誠に不幸なことであります。

加茂だけは、こんな悪性の熱病に感染し、あるいはとりつかれてはなりません。

去る二月十一日付朝刊に発表の朝日新聞の調査によれば、合併の動きが多い所は、新潟、広島、長崎、徳島、熊本、大分などのことです。即ち、悪性の熱病にとりつかれているのは六つの県にすぎず、不幸にしてそのなかに新潟県が入ってしまったのであります。

特に小泉総理のお膝元の神奈川県をはじめ、東京、大阪、秋田、岩手、福島、島根、鹿児島では合併の動きがないとのことであります。

全国の約三千二百の市町村を三百以下にすると豪語している小泉総理のお膝元の神奈川県では、合併の動きが全くないのです。

即ち、小泉総理は、東京、神奈川のような富みたる

地域では合併を行わず、相対的に貧しい地域で合併を行って国から行く金を減らし、富みたる地域の富が貧しい地域へ移転するのを防ごうとしているのであります。

そもそも政府が合併を言い出したのは、小さな村を町や市に合併するという程度のことであったのです。地方分権の受け皿として、あまり小さな村役場では行政実行能力がないのではないかということであったのです(私はそのようには思いませんが)。それが小泉総理になって、全国を三百以下の市にするなどと大げさなことになる、国民を不幸にする大合併の話になってきたのであります。

民主主義の基盤は、地方における市民中心の民主政治であります。日本の市町村の数は、約三千二百。ドイツは一万二千。フランスは三万七千もあります。ドイツやフランスの行き方こそ正しい行き方と考えます。合併は、市民中心の民主的市政を不可能にします。

合併により、「よもやま話路線」は実行不可能となり、市役所職員という官僚による全体主義的市政が行われることになりました。いかに職員一人ひとり優秀でも、体質的、構造的にそのようになります。

小泉総理は、全国の市町村の数を三百以下にすると言っています。そうなれば、新潟県の各地域は、五つくらいの市に統合されてしまいます。その時もはや、県は不要となりますので、県も廃止され、道州制が敷かれることになって、全体主義ファシズムへの道が開



かれることになります。全体主義ファッショ道州制。これが小泉総理がめざすところであることは、明らかであります。そんな謀略に乗って「合併は避けて通れない」などという考え方は、民主主義を破壊し、地方を破壊し、国を滅ぼすものであります。

さて三条市は、現在多額の借金を抱えておられ、職員の給料を減らさなければならぬほど、財政状況は厳しいようであり、貯金も十三年度に一億五千万円増えいくらいであり、貯金も十三年度に一億五千万円増えて十八億五千万円となり、幸いに財政状況は良好であります。そこで県央東部合併が行われれば、加茂市地域は貯金を全部吐き出させられたうえに、三条市の多額の借金を背負い込むことになります。その時、加茂市の高い市政の水準、手厚い市政の水準は、めっちゃめちゃになります。

合併すれば、加茂は、合併市の周辺部の地域として、さしたる投資がなされることもなく、過疎化し、北越の小京都は見るかげもなく、やつれはてていくでしょう。

合併によって、加茂はなくなるのですから、「北越の小京都加茂」は消え去ります。

合併によって、日本一の福祉のまち加茂はなくなります。

県下二十市中最低の保育料は消滅し、大幅な値上げが行われることになります。

日本一自然環境が守られているまち加茂はなくなり

ます。

二百万円までの無担保・無保証人融資をはじめとする商業に対する手厚い支援と保護はなくなります。商店街に対する手厚い支援と保護はなくなり、大型店が新たに進出してきて、商店街は壊滅するものと思われまます。

合併によって農機具補助等の農家に対する手厚い支援と保護はなくなります。

加茂の文化会館は閉鎖になるでしょう。県立か市立の大きな文化会館が合併市の中心部に建設され、加茂の文化会館は重荷となるからであります。

加茂商工会議所も当然なくなります。

コミュニティセンターの百円風呂はなくなり、コミュニティセンターは整理統合されるでしょう。

温泉も閉鎖されるかもしれません。

学校や保育園の中には、統合されるものが出てくるでしょう。

合併によって、加茂市地域の公園や加茂川河川敷の管理は手薄となるでしょう。

加茂市地域の下水道の整備は遅くなり、遅れている三条市地域が優先されるでしょう。

合併によって、県下二十市中最低の水道料金は消滅し、大幅な値上げが行われるでしょう。

次に県央東部合併の破滅的な結果について、数字をあげて御説明します。

平成十二年度に国が加茂市に交付した普通地方交付

税と特別地方交付税の合計は、四十七億円でした。加茂市の人口は三万四千人で長岡市の人口は十九万人ですが、長岡市の地方交付税の総額は、九十九億円にすぎません。人口が多いと基準財政需要額が相対的に低く設定されるので、そのようになるのです。

県央東部合併に、もし加茂市が加わりますと、その規模は二十万人で、ちょうど現在の長岡市と同じくらいの規模になり、地方交付税の額は、長岡市の九十九億円と概ね同額となるものと推定されます。

仮に加茂市も含むとして、現在県央東部へ来ている地方交付税の総額は、百九十九億円ですから、合併すると、なんと百九十九億円から半分の九十九億円へ百億円も毎年減らされてしまうことになります。

しかもそれは、全体としての話であって、個々的には、もっと悲惨なことになります。長岡市が平成十二年度に受け取った地方交付税総額を各市町村の長岡市に対する人口比で割ったものが、新しい県央東部の市の各地域に対して国から計算上来る地方交付税の額であります。

三条市地域（人口八万六千人）は、現在もらっている五十六億円が四十五億円に減ります。

燕市地域（人口四万四千人）は、現在もらっている三十一億円が二十三億円に減ります。

加茂市地域（人口三万四千人）は、現在もらっている四十七億円が十八億円に減ってしまいます。

田上町地域（人口一万四千人）は、現在もらっている二十三億円が七億円に減ってしまいます。

下田村地域（人口一万二千人）は、現在もらっている二十七億円が六億円に減ってしまいます。

栄町地域（人口一万二千人）は、現在もらっている十四億円が六億円に減ってしまいます。

これが市町村合併の恐ろしい実態であります。

小泉総理の地方破壊の謀略の真相であります。

今まで県央東部へ来っていた国の地方交付税の総額は、半分に減るのです。

毎年百億円も減るのです。

こんなに大幅に減った交付税は、市の中心部にたくさん投下されますから、周辺部への投下額は、今申し上げた数字よりも、もっと少なくなります。

何といったところで、日本海側は、富みたる地域である太平洋ベルト地帯から上がる税金を国から分けてもらって生活しているのです。

その国から来る金が百億円も減らされて半分になった新しい合併市は、たちまち財政難に陥り、合併前の水準のサービスを提供することは、到底できなくなります。周辺部はもっと悲惨で、加茂市は壊滅します。田上、下田は、生き残れなくなるほどの打撃を受けることになるでしょう。

徹底的な地方破壊が行われようとしているのであります。

私達は、少くも交付税を減らされたからといって、県央東部の二十万人が同規模の長岡市より毎年百億円も多い、同市の二倍の金を国から受け取れる幸せを捨てて、破滅的な合併に走るような愚を断じて犯してはなりません。

県央東部地域で毎年百億円も国の地方交付税が減られるような合併に比べれば、現在各市町村に対して交付されている地方交付税は、ほとんど減らされていないといっても過言ではありません。総務省と地方出身の国会議員と地方の世論が、私達を守っています。内閣が代われれば、おそらく地方交付税は、逆に増えて行くでしょう。

要するに、加茂市は何もせずに傍観しているのが最良の策であります。

もし万一、加茂市以外が合併したら、十年か十五年くらい様子を見ていけばよいのです。必ずや加茂市の豊かさと幸福に比べて、新しい合併市は悲惨なことになります。

もし万一、合併した人達が加茂市民より格段に幸せだ（絶対にそんなことにはなりません。）ということになれば、そのとき、合併しても遅くはないのです。市町村に来る金が、たいして減らされてもいないのに、大幅に減らされていると早合点して、縄を蛇と間違えて、あわてて合併して、国から来る金が本当に三分の一あるいは四分の一に減らされるというような愚を、加茂市は犯してはなりません。

なお、田上町との合併については、現在のところ田上町にその気はなく、田上町は県央東部合併研究会の方に加わっています。

田上町と加茂市は、すでにゆるやかな合併がなされています。即ち、消防と衛生は合併して組合を作っております。

私は田上町と加茂市は、それ以外の分野まで合併する必要はなく、また合併しない方がそれぞれのためだと考えております。

平成十四年度の施策につきましては、先ほど申し上げました予算編成方針の各項目のとおりでございますが、そのいくつかについて、さらに申し上げます。

### （温泉施設のオープン）

建設に着手した温泉施設（市民福祉交流センター）は、今年の紅葉のころにオープンすることをめざしております。日本有数の効能を持った温泉であります。百畳敷の大広間を三つ、広い浴室、露天風呂、サウナ、広い脱衣室、御家族用の個室（十二畳）八室、身体障害者用または家族用浴室二室を備えております。

### （冬鳥越スキーガーデン

### 日本一の全面花時計、バラ園、駐車場等）

冬鳥越スキーガーデンは、さらに駐車場を整備し、国から来る雇用対策のための緊急地域雇用創出特別基金事業補助金を使って、直径二十メートルの日本一の全面花時計やバラ園を整備し、日本有数の洋式庭園にいたしたいと思います。

### （加茂信濃川大橋の工事は、速いスピードで進む）

加茂信濃川大橋は、完成した橋脚一基に加えて十三年度補正予算でさらに橋脚二基が認められました。残りは橋脚六基と橋台二基であります。このうち川の流れる中の橋脚が三基あり、これは、水流を妨害しないように一基ずつしか造れません。従って十四年度からは、川の流れの中の橋脚を一基ずつ造りながら、陸上の橋脚と橋台を同時に造っていくことになります。いづれにいたしましても、工事は早いスピードで進んでいくこととなります。

### （国道四〇三号線バイパスは、着々整備）

国道四〇三号線バイパスは、国の重要案件として、多額の金が投下され、着々と整備されていくこととなります。

### （新潟鐵工所加茂工場の無傷存続、

### 下請等の救済）

会社更生法の手続きが進んでいる株式会社新潟鐵工所加茂工場を無傷で存続させるため、全力を尽くします。おそらく無傷で存続することになるでしょう。下請け・孫請け企業についても、それぞれマン・ツーマンでお守りしてまいります。

### （丸五技研の存続）

民事再生法の手続きが進んでいる株式会社丸五技研の存続のため、全力を尽くしてまいります。

### （日本一の福祉と児童福祉の水準の堅持）

日本一の福祉の水準は、断固堅持いたします。在宅介護料と看護料無料の制度は、これを堅持いたします。

県下二十市中最低の保育料は、これを堅持いたします。

その他あらゆる福祉の水準は、いささかも落とすことなく、さらに充実してまいります。

六十五歳以上の無料のインフルエンザ予防接種は、継続してまいります。

### （須田の憩いと遊びの広場）

新設の須田中央公園に建設中の「憩いと遊びの広場」には、「子育て支援センター」を開設いたします。

### （公立保育園園児バス）

公立保育園にも園児バスを導入いたします。

### （日本一商工業が守られているまちの堅持。市の独自融資の実施）

日本一商工業が守られているまちを堅持いたします。中小企業小口融資（二百万円無担保・無保証人）を堅持し、第二次中小企業経営安定資金融資（一千万円、七年（二年据置き））を開始いたします。各業界の御意見を承りながら、各産業を一生懸命御支援申し上げます。

### （商店街近代化は五番町へ）

商店街近代化は、本年度五番町へ入ります。全力をあげて商店街を御支援申し上げます。

### （日本一農業が守られているまち）

日本一農業が守られているまちを堅持いたします。農機具補助の制度はこれを堅持いたします。

### （日本一自然環境が守られているまち）

日本一自然環境が守られているまちは、これを堅持いたします。

### （小中学校教育の充実）

小中学校の教育をさらに充実してまいります。技術面の教育とともに「心の教育」を重視いたします。

### （道路、水路、公園等の整備）

根古屋中央線をはじめ、道路、水路、公園等の整備を着実に進めてまいります。

### （若宮公園）

若宮公園は、主要な用地の買収を終わりました。姿が次第に目に見えてくると思います。

### （下水道）

内閣によって、加茂市へ毎年来る国の金・地方交付税が、これまでに毎年一億五千万円減らされることになり、最終的には毎年二億円程度減ることになると思われます。それ以上はあまり減らされることはないでしょうが、とにかく、この二億円を何とかしなければなりません。しかし、福祉その他減らすことができないところはどこにもありません。そこで真にやむをえず、

下水道の事業規模を最小限度減らさせていただきました。下水道は平均すると、三分の一を市が負担し、三分の二を国が負担しますので、市の金を二億減らすと事業規模は六億減ることになる計算です。

いろいろ検討いたしました結果、これまでの毎年十六億円の事業規模を十一億円といたしました。このうちこれまで加茂市の建設業に発注されていた分は、十三億円でありましたが、これが十億円となります。圧縮幅を最小限におさえたいつもりであります。

毎年十一億円の規模であれば、下水道はなお相当速いスピードで整備されていきます。この場合、幹線の方が国の負担率が七一%と高い関係で、建設業とその従業員の方々をお助けするためには、当分の間幹線の比率を高くせざるをえず、幹線七億円、支線三億円とせざるをえないことを御理解いただきたいと思います。

### （下水道認可区域の拡大等 下水道が下条川を渡る）

十四年度には、下水道の認可区域を、猿毛、元狭口、芦ノ出、小貫、加茂新田、川西、山島、天神林、下興野、長福寺、希望ヶ丘、須田の一部にまで広がります。加茂信濃川大橋とともに下水道が須田へ渡ります。また、今年度には下水道が下条川を渡ります。

### （水道料金四・五%値上げ）

#### しかし、県下二十市中最低料金は堅持）

水道につきましては、興国鋼線索のように水を大量に使っておられた会社が閉鎖されたりして、水道料総収入が若干減りましたので、五%弱（四・五%程度）の値上げをせざるをえないことを御理解いただきたいと存じます。しかし、県下二十市中最低の水道料金は、これを堅持いたします。水道老朽管の更新は、下水道工事における水道管移転補償として着々と進捗し続けております。

### （積極的な施策の推進）

平成十四年度も、市民の皆様の御要望をすべて実現することを目標として、各般にわたり、積極的に施策を進めてまいります。

### （洋々たる未来が開けている予算）

#### 温泉の次は第三平成園）

前述のとおり、平成十四年度は、市役所職員が十三人も退職するため、昨年度より一億七千万円も多くの退職金が必要となる厳しい年ですが、平成十五年度から十八年度までの、市議会の皆様方と私の次の任期の間は、退職者も多くなり、割合予算編成が楽な年となります。

したがって、平成十四年度の予算編成に成功すれば、加茂市の財政は、極めて安泰となります。

私と市職員各位は、一丸となって、知恵を振り絞り、やりくりをいたしました。

その結果、これまでに到達した加茂市政の高い水準を下げることなく、予算案を作りあげることができました。

下水道事業の予算の減額も、最小限にとどめることができました。

平成十三年度末には加茂市の貯金は一億五千万円増えて十八億五千万円となります。県央三市では、市民一人当たり最も多い額であります。

平成十四年度において、加茂市の貯金が減ることは、おそらくないであろうと推察しております。

むしろ、十四年度予算の執行の過程で、加茂市の貯金がさらに増えていくことを期待しております。

十四年度において、充実した予算を編成することができましたので、十五年度以降には、加茂市はますます充実した予算を編成し続け、充実した財政のもと、加茂市の貯金はさらに着実に増えていくものと考えております。

あわてて合併などして、没落していく道はたどらない加茂市の未来は、洋々としております。

平成十四年度の加茂市の予算案は、一言でいえば「洋々たる未来が開けている予算」であります。

温泉の次は、いよいよ全館個室の第三平成園です！加茂市に常に大きな夢と新しい風を！

そして民主的市政を！

みなで力を合わせて、さらに高い市政の水準と明日の繁栄をめざして進んで行きましょう。

# 美川憲一コンサート

(4月14日開催)

チケット好評発売中!!



加茂川ブルース (美川憲一)  
加茂川慕情 (真咲よう子)  
発表会  
同時開催

日 時 平成14年4月14日 (日) 昼の部 午後2時開演 夜の部 午後6時開演

会 場 加茂文化会館大ホール

入場料 全席指定 前売券 S席 5,000円 A席 4,000円 (当日 各500円増し)

入場券取り扱い (プレイガイド)

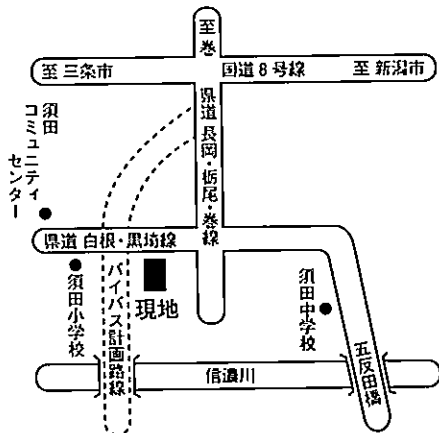
市内: 市民サービスセンター 小池時計店 書 泉 ミュージックショップ・アベ  
加茂文化会館 三条市: 越後交通県央観光(株) 東三条駅前案内所 マック・プラザ

お問い合わせ 加茂文化会館 (☎53-0842)



# 市内住宅団地分譲中

## 後須田住宅団地



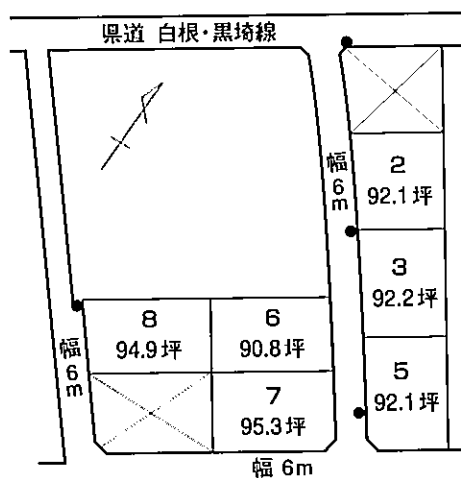
【住宅団地からの所要時間】  
 須田小学校まで 徒歩6分  
 須田中学校まで 徒歩10分  
 須田コミュニティセンターまで 徒歩9分

### 分譲価格

番号	面積(m <sup>2</sup> )	価格(円)	番号	面積(m <sup>2</sup> )	価格(円)
2	304.52	7,917,520	6	300.18	7,804,680
3	304.80	7,924,800	7	315.14	8,439,449
5	304.69	8,159,598	8	314.01	7,796,868

### 申し込み資格・分譲条件

- (1) 一般分譲 居住するための住宅を必要とし、不動産業など営利を目的としない人。
- (2) 申し込み 建設課にある申込書(郵便請求可)に必要な事項を記入し申し込みんでください。申し込み順に決まります。
- (3) 契約と代金納入 売買契約は申し込み後7日以内に行い、代金は契約後30日以内に全額納入していただきます。



- ・所在地 加茂市大字後須田地内
- ・用途 都市計画区域内用途無指定(建ぺい率 70%、容積率 400%)
- ・施設 水道は宅地内引き込み済み。舗装道路

●印 電柱

## 若宮住宅団地

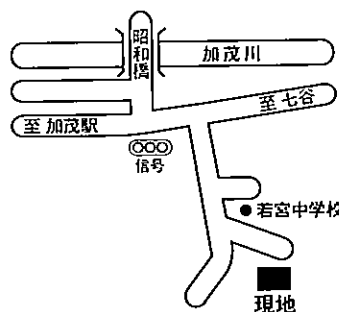
### 申し込み資格・分譲条件

- (1) 一般分譲 居住するための住宅を必要とし、不動産業など営利を目的としない人。
- (2) 申し込み 建設課にある申込書(郵便請求可)に必要な事項を記入し申し込みんでください。申し込み順に決まります。
- (3) 契約と代金納入 売買契約は申し込み後7日以内に行い、代金は契約後30日以内に全額納入していただきます。

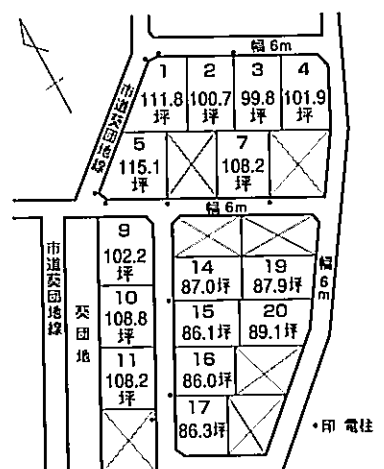
- ・所在地 加茂市若宮町二丁目地内
- ・用途 都市計画区域内用途地域無指定(建ぺい率 70%、容積率 400%)
- ・施設 ガス、水道は宅地内引き込み済み。舗装道路

### 分譲価格

番号	面積(m <sup>2</sup> )	価格(円)	番号	面積(m <sup>2</sup> )	価格(円)	番号	面積(m <sup>2</sup> )	価格(円)
1	369.86	12,615,924	7	357.74	11,746,392	15	284.78	9,350,751
2	333.10	10,512,636	9	337.21	11,609,803	16	284.56	9,343,527
3	330.12	10,418,587	10	353.53	11,946,132	17	285.41	9,280,391
4	337.04	9,992,224	11	351.09	11,528,040	19	290.70	8,432,916
5	380.70	12,985,677	14	287.74	9,723,022	20	294.64	8,547,211



【住宅団地からの所要時間】  
 若宮中学校まで 徒歩4分  
 加茂南小学校まで 徒歩15分  
 加茂駅まで 徒歩25分



●印 電柱

お問い合わせ・申し込みは  
 加茂市建設課用地係

☎52-0080 内線 219

平成13年度

## 加茂市教育委員会表彰式

加茂市教育委員会表彰式が行われました。

表彰されたのは、社会教育・生涯学習活動とおして貢献されている二名の方です。表彰された方は次のとおりです。

### 【教育文化功労】

知野 栄さん

多年にわたり公民館須田分館主事として、教育文化の発展に寄与。(50歳 上鶴森)

藤田庄策さん

多年にわたり公民館運営審議

### 加茂市教育委員会表彰式



会委員として教育文化の発展に寄与。(55歳 青海町二)

## カメラ ロ スケッチ



### お菓子づくり講座—親子の部

勤労青少年ホームで開催されているこの講座には、一般の部と親子の部があります。手作りクッキーには5組の親子が、生地作りから始めていました。コツは、型抜きのとこにくっつかないようにすることだとか。

## 市民囲碁・将棋大会

毎年、恒例となった市民囲碁・将棋大会にそれぞれ五十人を超える参加がありました。盤面上の戦いに、段や級は関係なく視線が注がれていました。

### 【市民囲碁大会結果】

▼Aクラス(四段以上) ①瀬高繁(新潟日報杯・芝野) ②津村正雄(高須町二) ③泉田修(第一区) ▼Bクラス(二・三段) ①尾崎敏(新栄町) ②酒井資栄(若宮町二) ③石月誠二(学校町) ▼Cクラス(初段) ①西條文和(学校町) ②小野良宣(横江) ③笠原光雄(八幡三) ▼Dクラス(級位) ①田中徳善(陣ヶ峰) ②長谷川義夫(下興屋向) ③坪谷弘三郎(上三区) ▼子どもの部 ①梅田真也(幸町一) ②富井建太郎(後須田第四) ③小林尚吾(幸町二)

【市民将棋大会】

▼Aクラス ①笠原山光(上三区) ②渡辺進(高須町二) ③桑原茂(幸町一) ▼Bクラス ①北沢岩夫(仲町) ②山岸欣助(赤谷) ③工藤誠彦(大郷町二) ▼Cクラス ①玉木正平(新潟日報杯・桜沢) ②石黒吉彦(上鶴森) ③坂上憲太郎(秋房) ▼子どもの部 ①清水宣宏(八幡三) ②佐野貴之(第二区) ③桑原達也(下興屋向)

## 市議会3月定例会

新年度予算など  
26議案を審議

三月定例会市議会は、今月五日に招集されて二十二日まで予定で開かれています。

この議会に市長が当初提出した議案は、平成十四年度各会計予算をはじめ、条例の制定・改正、今年度各会計補正予算、住居表示の区域と方法など二十六件で、その主な内容は次のとおりです。

### 平成十四年度各会計予算

平成十四年度の一般・特別会計と水道事業会計予算は、別冊「当初予算(案) 概要」のとおりです。

### 一般会計補正予算

このたび二億三千三百万六千円を増額して、予算の総額を百五十五億四百十三万円とするものです。

歳出の主な内容は、財政調整基金積立金一億一千三百七十五万円などを増額し、下水道事業特別会計繰出金千二百二十七万円などを減額するものです。これに充てる財源は地方交付税、繰越金などです。

### 市立保育園バス条例

市立保育園に通う園児の登園や降園時の利便と安全を図るため、送迎バスを設置する条例の制定です。

入湯税、市民福祉交流センター設置条例

宮寄土地内で建設中の市民福祉交流センター(温泉施設)の新年度完成に伴い、入湯税条例と、大人入館料七百円など管理運営に必要な事項を定める同センター設置条例を制定するものです。

水道料金五月から四・五%程度値上げするため条例を改正するものです。口径二十ミリで二十立方メートル使用する一般家庭の月額料金は、二千三百三十八円から二千四百三十六円へ九十八円の値上げとなります。

住居表示に関する市街地の区域と住居表示の方法

今年十月中旬から実施予定の芝野と横江の住居表示について、両地区を市街地の区域に含めて街区方式で実施したいというものです。



**A**

**Q**

埋伏菌（まいふくし）  
には、どんなものがある  
のでしうか



通常では矯正歯科などで便宜  
 拔去（べんぎばつきよ）といっ  
 て歯を間引くのは、このように  
 第二小臼歯が埋伏状態になっ  
 た、歯並びが悪くなったりす  
 るのを防ぐためなのです。いず  
 れにしろ、埋伏歯は外から見え  
 ません。こういった意味からも  
 かかりつけの歯科医院で定期検  
 査をすることが必要です。

足することにより生じます。

また、このほかには、第二小臼歯（しゅうきゅう・し）が埋伏歯になる場合があり、歯が並びきれないときに第一小臼歯と第一大臼歯が接近して生えてしまうので、あとから生える第二小臼歯の生えるスペースが不足することにより生じます。

外からは見えません。上あごの前歯の歯並びが悪い場合には、この正中過剰埋伏歯が原因の場合がありますから、歯科医院で調べてもらうとよいでしょう。

ることがある正中過剰歯（せいちゅう・かじよう・し）という歯です。これは名前のとおり、すべての人にある歯ではなく、余分にある歯です。しかし、比較的頻度が高く数十人に一人の割合で見られます。この正中過剰歯は、埋伏歯の状態ですので

平成13年9月、日本で初めて牛海綿状脳症（BSE）の牛が発見されました。現在、国は、感染した牛の肉などが市場や店頭に出回らないシステムを確立し、牛肉などの安全性を確保しています。

国内産の牛肉などについては、食肉処理を行うすべての牛を対象にしたBSEスクリーニング検査を実施し、検査に合格した肉などのみが出荷されます。

さらに、BSF感染の有無にかかわらず、脳、せき髄、眼や回腸遠位部を除去し、焼却しています。

**Q** 牛海綿状脳症は、どんな病気なのですか？

**A** 牛海綿状脳症（B S E : Bovine spongiform encephalopathy）は、1986年にイギリスで初めて報告された牛の病気です。B S Eにかかった牛の脳の神経細胞は空胞化し、海綿状になることから牛海綿状脳症と名付けられました。牛がB S Eに感染すると、2～8年の潜伏期間の後、発病し、行動異常や運動失調を示すようになって、2週間から6か月の経過を経て牛は死にいたります。

BSEは、ウイルスより小さい感染因子である「異常プリオン」を含む飼料などを食べることによって感染します。牛同士の接触や空気を介して感染することはありません。

異常プリオンは、BSEにかかった牛の脳、せき髄、眼、回腸遠位部に含まれていることが確認されています。そのため、国際機関のOIE（国際獣疫事務局）の基準では、これらの部位は特定危険部位とされ、除去すべき対象になっています。

**Q** 牛肉や牛乳・乳製品の安全性について教えてください。

**A** イギリスにおけるマウスなどでの接種試験の結果、牛の脳、せき髄、眼、回腸遠位部の危険部位以外から異常プリオンは発見されていません。

OIE（国際獣疫事務局）の基準でも、牛肉は、  
 BSEの感染性のある危険部位ではなく、安全です。  
 牛乳や乳製品についても、WHO（世界保健機関）  
 専門家会議報告によると、乳はBSEを伝達しない  
 ことから、安全です。

【牛海綿状脳症についての情報提供先】

厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課

TEL 03-5253-1111(℥) <http://www.mhlw.go.jp/>

農林水産省生産局畜産部衛生課

TEL 03-3502-8111(代) <http://www.maff.go.jp>

# 前須田

## 星野貞菴の碑

須田小学校校門を背に県道を横切りまっすぐ進むと、延命寺というより須田保育園の裏手に前須田集落の共同墓地がある。右側に西村建築の作業場があり道路と建物の間に、注意しないと見落とすような小さな石碑がある。長岡御影の天然石で高さ九十センチ、幅七十センチの路傍の石という失敬であるが、草むらに埋もれるような墓碑である。

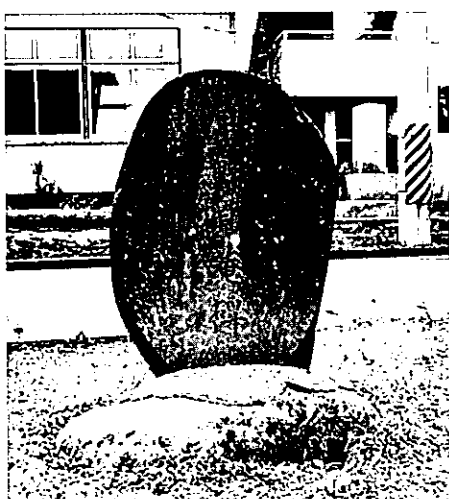
正面に

「天山妙音大師 星野貞菴碑」とあり、碑陰には

「明治廿九年十月建之」

門人 西村千代松 藤吉

## 加茂の風土記



須田保育園の裏手にたたずむ星野貞菴の碑

星野次郎作 次郎兵衛  
吉川孫次郎 孫助

西村貞蔵 新之丞  
西村平蔵 辰左衛門

梅津岩次郎 仁八  
山野井藤蔵 藤兵衛

鈴木太郎 宅兵衛  
和平太郎 浅右衛門

外石栄蔵 銀蔵  
石田忠太郎 忠助

石田キヨ 喜左衛門  
(下段は屋号)

と十二名の門人たちが建立したことが分かる。

この墓碑は小平次（星野與四郎氏）が祠っているが、当家は

藩政時代、前須田村の組頭を長らく務めた田家次郎兵衛（星野薫氏）出自の貞菴をもつて女方の先祖としている。

この貞菴が、どこにだれに師事して学問を身につけたか、その行状はほとんど分からないが、鶴森・葉王寺ご住職（中沢氏）の話や小平次のご老人の話を要約すると、分家したばかりの草庵に村人たちを招き入れ、仁義作法、手紙の文章、金銭貸借証文、田畑丈量等々、日常生活に必要な知識を授けたとか。後にこれらの人の中から測量士の資格を取得し、村人の家屋敷、田地の図面等、かいたものが多く残っている。

また、明治新体制の前須田、砂押の集落行政の中核となつて働き、須田村会議員あるいは学務委員も輩出している。前須田には、市史編さんの史料となる村の取決め事の分かりやすい条文類が多くあり、これらの文書は貞菴門下生の所産であろう。路傍のささやかなこの墓碑を見ると、門人たちの師を敬慕する心温まる情感が伝わってくるのは、ひとり私だけだろうか。

(丸山 朝雄)



三月六日、県立加茂病院附属看護専門学校卒業式がありました。卒業された皆さんは、国家試験の合格発表後、看護士になり、病院や健康診断の会場で見かけるかもしれません。

おめでとう

新潟県成人病予防協会長表彰  
皆川栄子さん（栄養士 矢立）  
皆川さんは、多年にわたり食生活改善活動に従事しており、栄養改善による生活習慣病予防に貢献をされております。この功績により表彰されました。おめでとうございます。

ありがとうございます

平成十三年度歯科保健功労者  
新潟県知事表彰  
永井榮子さん（歯科医師 栄町）  
永井さんは、多年にわたり小学校・保育園の学校歯科医として歯科保健推進事業に努めておられます。この功績により県知事から表彰されました。おめでとうございます。

社会福祉費寄付金  
山田義雄さん（故・山田三保さんのご遺族 上興屋向）から 十万円  
福祉事務所へ  
山崎 章さん（故・山崎ハルさんのご遺族 黒水東区）から 介護用品一式

## 人口のうごき

3月1日現在  
世帯 9,818 (－3)  
人口 33,491 (－26)  
男 16,223 (－21)  
女 17,268 (－5)  
( )内は前月比

(2月異動分)  
出生 14 (男 6 女 8)  
死亡 30 (男 17 女 13)  
転出 42 転入 32